【がん種】	多発性骨髄腫
【レジメン名】	DMPB①1コース目
【登録番号】	011345
【1コースの期間】	3週間
【総コース数】	3コースまで（忍容性があればDMPB②2～9コース目 を施行する）
【催吐性リスク】	軽度：DMPB
【抗がん剤の組織障害性】	イリタント（炎症性）：ベルケイド、ノンビシカント（非壊死性）：ダラザレックス
【投与量に制限のある薬剤】	なし
【主な有害事象】	編集中
【必要な検査】	編集中
【根拠論文】	N Engl J Med 378:518-528, 2018.
【点滴の時間】	[day1]1コース目約8時間35分, 2コース目～約5時間15分、[day8]1コース目約6時間5分, 2コース目～約5時間15分、[day15]約5時間15分
【費用】	編集中
【その他】	ダラザレックス：正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. 調製後15時間以内に投与を終了する. 治療開始前に間接クームス試験を実施する（最終投与から6ヵ月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため）. ベルケイド：調製後8時間以内に投与を終了する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日																					
					1	2	3	4	…	8	…	11	…	15	…	22	…	25	…	29	…	32	…	36	…	42
1	アシクロビル錠 200mg	2 錠/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○					○				○		○				○				○		
3	アセトアミノフェン錠 200mg	4 錠/回	内服	1日1回 ダラザレックス投与1時間前	○					○				○		○				○				○		
4	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ポララミン注 5mg/1mL	1 B 3 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○					○				○		○				○				○		
5	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○					○				○		○				○				○		
6	生理食塩液 1000mL ダラザレックス点滴静注 初回 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量1000mLに調製 1コース目	○																					
7	生理食塩液 500mL ダラザレックス点滴静注 2回目 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで 3回目～ 100mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量500mLに調製 2コース目	○					○				○		○				○				○		
8	生理食塩液 20mL ベルケイド注射用 調製開始から8時間以内に投与終了	1 A 1.3 mg/m2	皮下注	2.5mg/mLの濃度に調製 27Gの針 腹部、大腿部	○			○		○		○				○		○		○		○				
9	アルケラン錠 外来の場合は1日目のみ夕食前服用	9 mg/m2	内服	1日1回朝食前	○	○	○	○																		
10	プレドニン錠 5mg	60 mg/m2	内服	1日1回朝食後		○	○	○																		